

平成 28 年度 長伏小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

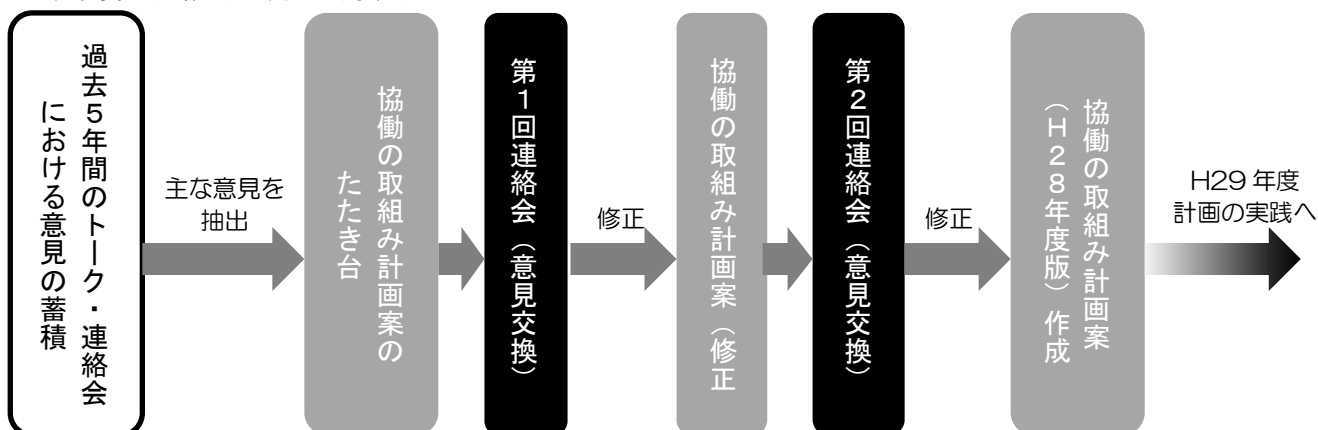
12月14日（水）に開催された「長伏小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

日 時	平成 28 年 12 月 14 日（水）19:00～20:45		
会 場	中郷文化プラザ		
参加団体 (21名)	松本町内会 長伏町内会 御園町内会 松本幼稚園 松本幼稚園 PTA	長伏小学校 長伏小学校 PTA 中郷西中学校 中郷西中学校支援地域本部 長伏子ども会	消防団第18分団 保健委員会 民生委員・児童委員 中郷地区地域包括支援センター

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、各団体が地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

団体	情報交換の概要
中郷地区地域包括支援センター	<p>■講座の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般市民向けの講座である「認知症サポーター養成講座」や高齢者の社会参加の重要性を話す「介護予防講座」を開催しました。
長伏小学校 PTA	<p>■活動の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/21 に PTA が中心となって小学校内の整備作業を実施しました。 ・11/26 の「長伏祭」でバザー、12/3 に廃品回収を行いました。売り上げは子どもたちの活動に使わせていただきます。
長伏小おやじの会	<p>■活動の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの防災意識を高めるため、11/3 に、防災やおもちゃのリサイクルを中心とした「イザ！カエルキャラバン」を開催したところ、120～130 人の子どもが参加し、大盛況でした。子どもたちに好評だったので、今後も続けていきたいです。 ・頼みづらい写真撮影をサポートするため、卒業式や入学式において、卒業生や新入生とその家族等の撮影補助をしています。
長伏小学校	<p>■地域の皆さんに協力いただいたことのお礼と紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、小学校の懸案事項の解決に向けて、地域の皆さんにたくさん協力していただきました。 ・中庭のピオトープは、地域の方の協力で整備することができました。 ・毛虫の被害軽減のため、12/6 に学校支援地域本部やおやじの会、町内会の方々など、15 人程で校内のサザンカの木を伐採していただきました。 ・花壇のリニューアルを検討しています。今後、ぜひ地域の皆さんのご協力をお願いします。 <p>■行事等の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/24 に「6 年生を送る会」を開催し、学年ごとに学習の成果などを発表します。地域の皆さんもご参加ください。 ・1 月に 5 年生を対象に「ゆめセン 心のプロジェクト」という授業を行います。一流アスリートに来ていただき、「夢」について語っていただきます。
中郷西中学校	<p>■行事参加のお礼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中郷西中では、生徒に地域の行事に参加するように呼び掛けています。 ・長伏町内会のお祭りに、吹奏楽部が出させていただきました。 ・松本町内会では、運動会に中学生がたくさん参加させていただきました。 ・御園町内会でもお祭りに中学生が参加させていただきました。 ・学校支援地域本部の一員である塾の先生が、放課後に中郷文化プラザ 1 階で、中学 3 年生の勉強の指導をしてくれています。今日も 15 人くらいの生徒が勉強していました。 ・1/20 に電子黒板を使った教科の授業を公開します。新時代の授業をぜひ参観しに来てください。

意見交換のまとめ

■キャッチフレーズの投票結果

第1回連絡会でいただいた意見を踏まえて事務局が作成した「こんな小学校にしたい」（キャッチフレーズ）の案について、投票を実施しました。

案①	挨拶が響き 笑顔いっぱい きずなのある長伏小学校区	17
案②	あいさつと笑い声のあるまち 長伏小学校区	2

投票の結果、「こんな小学校にしたい」（キャッチフレーズ）は以下の通りとなりました。

挨拶が響き 笑顔いっぱい きずなのある長伏小学校区

■「具体的な取組み」の投票結果

協働の取組み案に掲載している「取組みたいこと」について、右記の3つのポイントで投票していただきました。投票の結果は以下の通りです。

＜投票のポイント＞

- ①「やってみたい」と思う取組
- ②課題を解決するために重要な取組
- ③実現できそうな取組

※●の数が投票数を表します。

A 消防団などと連携し、災害に備えよう	やりたい	重要	できそう
A-① 災害時の活躍が期待される中学生が、主体的に取り組める防災訓練を提供する。 (消火ポンプの操法、住民への指導役、炊き出し、高齢者の介助など、具体的に中学生に役割を与える)	●	●●●●● ●●●●● ●	●
A-② 将来の消防団員の確保を図るため、防災訓練で消防団員が活躍する姿を子どもたちに披露するとともに、消防団と子どもの交流機会を設ける。		●●●●● ●	●●
A-③ 学校の防災訓練に消防団が訪問し、子どもたちへの啓発活動を行う			
A-④ 一律の基準で要援護者をリスト化するのではなく、個々の状況を把握して、本当に救助が必要な人をピックアップできるか検討する。		●●	
A-⑤ 災害時に消防団 OB の力を借りることができないか検討する。	●		●
A-⑥ 災害時の対応のために、挿絵などでわかりやすいマニュアルを作成する。			

B スポーツを通じて地域のきずなを深めよう		やりたい	重要	できそう
B-①	運動会などの体育行事の参加者を増やすため、子ども中心の種目構成に変更するとともに、子どもが中心となって企画できないか検討する。	●●●	●	●●
B-②	運動会後に各町内会で反省会を開催し、運動会に参加できない高齢者も含めて親睦を図る。		●●	●●
B-③	子ども会に入会しない子どもが増えていることを踏まえ、子どもに関するイベントを開催する際には、子ども会だけでなく、地域が協力して取り組む。	●	●●●●	
B-④	スポーツ少年団に校区の運動会に参加してもらえるよう依頼する。			
B-⑤	運動会の参加者を募集する際に、運動会に参加する意義を理解してもらえるよう広報する。			

C 子どもたちを犯罪から守ろう		やりたい	重要	できそう
C-①	幼稚園や小学校で防犯教室を継続していく。		●●●	
C-②	日頃のあいさつや悪さをしている子どもへの注意などを通し、地域住民と子どものコミュニケーションをとる。	●	●●	●
C-③	子どもの下校時間帯に大人の目を増やすため、シニアクラブや学校支援地域本部などへ登下校時間帯の散歩や見守りを依頼する。	●	●	●●●●
C-④	子どもの登下校時の安全を見守るスクールガードの人数を増やすため、住民にやりがいを紹介するとともに、 <u>活動内容や募集方法等についても明記し、住民の認知度を上げる。</u>	●●		
C-⑤	地域のイベント開催時に、ゲームなどを通じ、かけこみ110番の周知を図る。	●●●●	●●	●●



■投票結果を受けての意見交換

A-① 災害時の活躍が期待される中学生が、主体的に取り組める防災訓練を提供する。(消火ポンプの操法、住民への指導役、炊き出し、高齢者の介助など、具体的に中学生に役割を与える)

●中学生が実践する場を作りたい

- ・中学生は学校で訓練しているので、ぜひ地域で実践の場を作ってほしい。
- ・実際にやってみないとわからないことが多いので、具体的に実践してみる方がよい。
- ・小学生は災害時対応の基礎を学び、中学生になったら実働で動けるようにするとよい。
- ・ご飯を炊く、ゴミを出すなどの日常的な家事を手伝うことが、災害時に役立つ。

●平日の昼間などは、中学生が頼りになるが、任せる範囲の線引きが大切

- ・平日の昼間は、大人も高校生もあまりいないので、中学生が頼りになる。
- ・平日の昼間に地元にはいない消防団が多いので、中学生に活躍してもらいたいが、あくまでも中学生なので、任せるところとそうでないところの線引きが大切である。
- ・中学生は、まずは自分の家族を守ることを優先し、その次は近所を守ることを考えてほしい。
- ・1人でも多くの中学生が地域の助けになるとよい。

C-③ 子どもの下校時間帯に大人の目を増やすため、シニアクラブや学校支援地域本部などへ登下校時間帯の散歩や見守りを依頼する。

●企業にも協力してもらおう

- ・幼稚園は女性が多いので、防犯などの面で周辺の企業にたくさん協力をいただいている。公的な組織や地域の組織だけでなく、民間企業に協力してもらうことも大切でないか。他地域よりも長伏の企業は協力的だ。

●犬の散歩をする人をお願いできそう

- ・犬の散歩をする人に呼び掛けることはできそう。

●犯罪の抑止ときずなづくりにつなげる

- ・防犯の基本は、たくさんの目で見守ることで、抑止力を高める。
- ・見守りは、地域の人顔を覚えることになり、きずなづくりにつながる。
- ・大人の視点だけでなく、子どもの視点も大切。子どもが変だと思ったことがあれば、大人も子どもも情報を共有すべき。

●下校時の見守りが難しい

- ・登校時間は集中しているが、下校時間帯は学年ごとバラバラなので、下校時の見守りが難しい。
- ・学校支援地域本部は、バックアップがメインなので、まずは親が関わる必要がある。

C-⑤ 地域のイベント開催時に、ゲームなどを通じ、かけこみ110番の周知を図る。

●ラリー形式でかけこみ110番の家を回る企画をやってみよう

- ・新小1が通学路を覚える時に、ラリー形式でかけこみ110番の周知をしたら面白い。
- ・すでに、「カエルキャラバン」と同時に、ラリー形式でかけこみ110番の家を回ることをやりたいと考えている。
- ・他地域を見学し、かけこみ110番の家をスタンプラリーで回るアイデアをいただいた。来年はぜひやりたい。